

# 吉野家班

白石・櫛谷・後藤

## 1. 準備に関する感想と反省

初めてのプレゼンということもあって資料やデータを集めるのが大変でしたが、みんなでうまく分担して出来たので作業は効率よく進んだと思います。メンバーの人数は最初6人だったのに、最終的には3人になったのは痛かったですが、少ない人数でも授業以外の時間に集まって作業ができたので問題なくプレゼンを完成させることができたと思います。

反省する点は、最初はまとまりがあまりなく、しかも調べたことも分担があまりうまくいかなかったのか被ったりしていたことだと思います。その分担などを改善するのは、ちょっと大変でした。しかし人数が少ないという条件が厳しいなかで、みんな役割を分担し準備できたのではないかと思います。

## 2. 報告内容とそれに対する質疑と概要

私たちのグループは吉野家、相手の渡辺ゼミのみなさんは松屋を調査し、お互いに企業の強みや弱み・経営戦略・優位なところについて発表しました。

わたしたち吉野家側は、大きくわけて有価証券報告書による経営分析、経営戦略、BSE問題、それに対する対策、今後の展望を発表した。

質疑については、女性・子供向きのメニュー(メニューの多様化)の具体的な内容について聞かれ、スライドどおりに答えた。他にも、経営の多角化についてなどの質問を受け、吉野家ホールディングの形態などから説明した。こちらが質問した松屋の無理な廉価販売についても多少質問されたが、ほぼすべての質問に答えられたので上手くできたと思いました。

## 3. 合同ゼミに対する感想と反省

初めてのプレゼンなのに、人数が少ないという他の班より条件が悪かったのに、よくプレゼンを完成させることができたなと思います。本当に6人から3人になったときは焦りました。それに、本番で読む原稿も前日までできていなかったし本番のぎりぎりまで打ち合わせをしていたので、ちゃんとできるか不安でした。

しかしいざ発表が始まると、緊張はしていたもののスムーズに進み無事プレゼンを終えることができました。ちょっとだけ原稿がなくて、言葉につまる部分はありましたが、なんとか時間通りになったと思います。無事プレゼンができたのも、メンバー全員で役割分担をして作業を流れやすくみんなが協力的だったからだだと思います。

この体験を通して、事前に資料を集めたりする大変さ・みんなでひとつのものを作り上げる達成感を感じることができ、メンバーの結束力の大切さを改めて実感しました。ここで学んだことはとても有意義なものだったので、今後に生かしていきたいと思います。

(文責 後藤綾子)